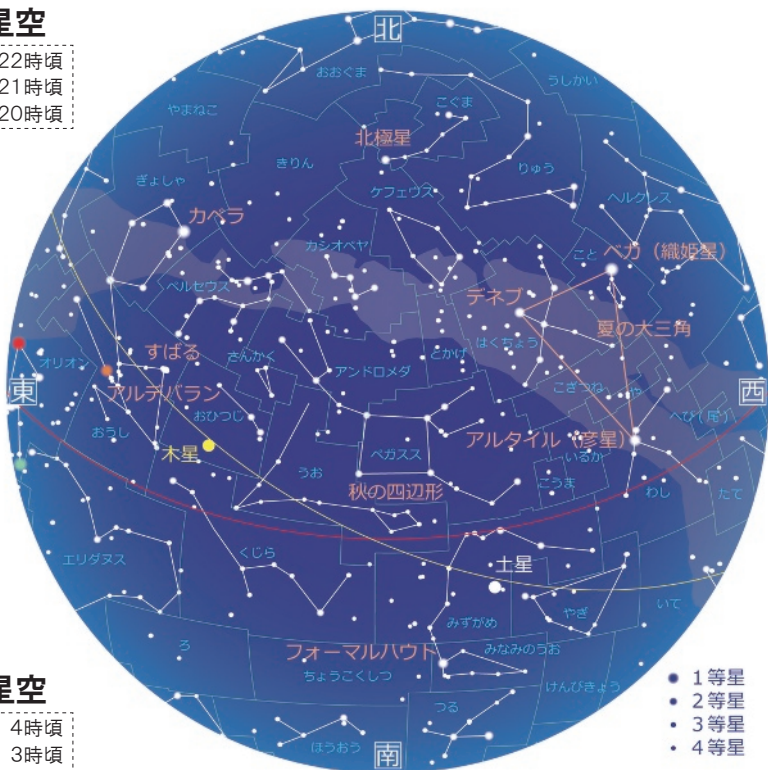


星空ガイド 10月16日～11月15日

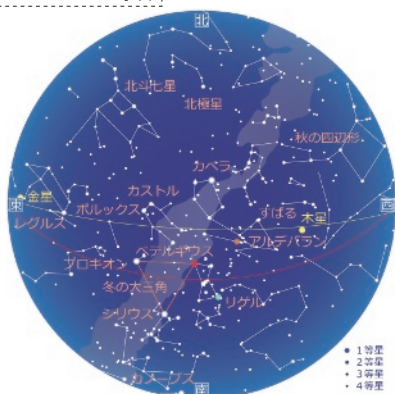
よいの星空

10月16日22時頃
11月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

10月16日 4時頃
11月 1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
10	16	6:03	17:23	7:16	18:04	1.4
	21	6:07	17:17	12:34	22:04	6.4
	26	6:12	17:11	15:47	2:50	11.4
11	1	6:17	17:05	19:25	9:48	17.4
	6	6:22	17:00	--:--	13:35	22.4
	11	6:27	16:56	4:05	15:38	27.4
	15	6:31	16:53	8:22	17:58	1.7

※惑星は2023年11月1日の位置です。

早起して、部分月食を見よう



10月29日の明け方に部分月食が起こり、大阪からも観察できます。月食は月が地球の影に入って起きます。今回は月の一部のみが影に入る部分月食と呼ばれます。ちなみに、月の全てが影に入る月食を皆既月食と呼び、最近だと2022年11月8日にありました。それと比較すると、今回の部分月食では、月の直径の13%弱ほどしか隠れませんが、そこまで大きく欠けるという訳ではありません。

29日の午前4時34分頃から月が欠け始め、5時14分に最も欠けた状態になります。その後5時53分にかけて月は地球の影から抜け出し、6時21分に月の入りを迎えます。図は10分ごとの月の様子をシミュレーションしたものです。

月食の観察にあたって、何か特別な道具の用意は必要ありません。西の空の低空に見えますから、西の空が開けた、安全な場所から観察してみてください。

目が覚めたら終わっていた。なんてことにならないよう、目覚ましのセットもお忘れなく。

木星が衝を迎えます

11月3日に木星が衝を迎え、観察の好機を迎えます。10月29日の月の近くにも木星が見えていますから(図の明るい星)、月食とともに木星も楽しんでみるのも良いかもしれませんね。

加守田 優(学芸補助スタッフ)

【こよみと天文現象】

月	日	曜	主な天文現象など
10	20	金	水星が外合
	21	土	土用の入
	22	日	●上弦(12時) オリオン座流星群が極大のころ
	24	火	霜降/月と土星がならぶ/ 金星が西方最大離角
	26	木	月が最近(364,872km)
	27	金	後の月
	29	日	○満月(5時) 部分月食(4時34分~5時54分、 5時14分に最大食分0.13) 月と木星がならぶ
	30	月	月とすばるが接近

月	日	曜	主な天文現象など
11	3	金	文化の日 木星が衝 月とポルックスがならぶ
	5	日	●下弦(18時)
	7	火	月が最遠(404,569km)
	8	水	立冬
	9	木	金星食(日本では見えない) 月と金星がならぶ
	13	月	●新月(18時)
	14	火	天王星が衝